

# 授業改善プラン

## 1 年 教科 ( 社会 )

### 【目的】

- 生徒の課題を分析し、適切な指導方法の工夫、改善を行う。
- 生徒、保護者に課題、改善の取り組みを明示し、学校と一体になって学力向上へ向けた取り組みを行う。

学力調査・定期考査・生徒の授業アンケート・授業の様子から分析して作成する。

観 点	1・2 学期		3 学期
	課題分析	具体的な改善プラン	改善プランの評価 来年度に向けて
社会的事象への 関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容への興味関心は高いが、分野や単元によって取り組みに差が出ることがある。興味関心を高め、自ら「考えよう」と思える工夫が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入の工夫（映像や写真の提示など）</li> <li>・課題に気づかせる指導助言。</li> <li>・クロームブックを活用した課題の設定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クロームブックの活用で、個別の評価フィードバックが容易になり、個に応じた指導を充実させることができた。来年度もICT活用や課題設定の工夫を継続する。</li> </ul>
社会的な 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉で説明することには少しずつ慣れてきている。一方で、1学期に発表やレポートなどの表現活動を実施できていないため、2学期以降重点的に指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容の説明問題や読解問題の継続。</li> <li>・単元のまとめレポート作成、レポートのグループ内発表。</li> <li>・クロームブックを活用した協働学習。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2学期以降にクロームブックを活用したレポート作成など、表現活動を充実させることができた。来年度もICTを活用した表現課題や、協働学習を継続していく。</li> </ul>
資料活用の技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な資料に触れる機会を作り、読み取る力を高める事ができている。一方で、複数の資料読解や、資料から問題の背景を読み取ることには課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料読解問題の継続。</li> <li>・複数資料読解等、発展的な問題の設定。</li> <li>・理解度に応じた支援の充実。（ヒント、個別支援等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料読解の技能は高まっているが、活用については十分に課題を設定できなかった。来年度は、資料の活用能力を高める課題を意識的に設定していく。</li> </ul>
社会的事象について の知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識、理解は概ね定着しているが、長期的な定着については、夏休み明け確認テストや実力テストで判断する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確認テスト、実力テストの分析。</li> <li>・クロームブックを使った確認テスト。</li> <li>・テスト結果の分析。</li> <li>・分析を活かした苦手の補充。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分野ごとに知識の定着に差があるが、クロームブックでの小テストや単元テストは学習の振り返りを促し、知識の定着に一定の効果を見せている。来年度も継続する。</li> </ul>
授業改善の検証方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査、単元テスト、実力テスト</li> <li>・授業ワークシート、ノート、小テスト</li> <li>・授業アンケート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査、単元テスト、実力テスト</li> <li>・授業ワークシート、ノート、小テスト</li> <li>・授業アンケート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査、単元テスト、実力テスト</li> <li>・授業ワークシート、ノート、小テスト</li> <li>・授業アンケート</li> </ul>

小中一貫教育の視点	具体的な取り組み (交流・連携等)	2 学期までの 成果と課題	1 年間の成果と 今後の課題
自分の力でたくましく 生きぬく子の育成 ～9年間の継続的な一貫性 のある指導を目指して～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎時間導入で小学校での既習事項を確認し、展開に進んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の既習事項を活かしながら、各事象の関連性について理解を深めることができています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度も小学校での既習事項を確認しながら小中のつながりを意識した指導を継続していく。</li> </ul>

# 授業改善プラン

## 2年 教科（社会）

### 【目的】

- 生徒の課題を分析し、適切な指導方法の工夫、改善を行う。
- 生徒、保護者に課題、改善の取り組みを明示し、学校と一体になって学力向上へ向けた取り組みを行う。

学力調査・定期考査・生徒の授業アンケート・授業の様子から分析して作成する。

観 点	1・2学期		3学期
	課題分析	具体的な改善プラン	改善プランの評価 来年度に向けて
社会的事象への 関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に学習に対する関心、意欲が高い。この意欲を活かして協働学習など様々な学習活動につなげていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブレインストーミングなどの思考課題や、グループ発表、ペアワークなどを継続的に実施。</li> <li>・クロームブックを活用した課題の設定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クロームブックが導入されたことで全体的に学習意欲が底上げされた。来年度もクロームブックを活用した思考課題や協働学習の機会を多く設定していく。</li> </ul>
社会的な 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に高い思考力を身に着けている。1学期は発表やレポートなどの表現活動を実施できていないため、2学期以降重点的に指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思考課題（ブレインストーミングやレポート作成、発表）の定期的な実施。</li> <li>・クロームブックを活用した協働学習。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クロームブックを活用することで個別のフィードバックが容易になり、一人ひとりの課題に応じた適切な助言を充実させることができた。来年度も継続していく。</li> </ul>
資料活用の技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に高い資料読解力を身につけている。一方で、自らの表現に活かすための資料の取捨選択といった活用力を高める課題設定が不十分である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発展的な資料読解問題の提示。</li> <li>・レポート作成において資料の選択や調査を重点的に指導。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入試問題を活用した読解問題などを取り入れながら技能の向上を図ることができたが、資料活用に関して十分な指導ができなかった。来年度は意識的に課題設定する。</li> </ul>
社会的事象について の知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月に実施した実力テストでは知識理解の定着に個人差が大きく出る結果であった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確認テスト、実力テストの分析。</li> <li>・クロームブックを使った確認テスト。</li> <li>・テスト結果の分析。</li> <li>・分析を活かした苦手の補充。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クロームブックでの小テストや単元テストで学習の振り返りを促し、知識の定着につながっている。来年度も継続する。</li> </ul>
授業改善の検証方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査、単元テスト、実力テスト</li> <li>・授業ワークシート、ノート、小テスト</li> <li>・授業アンケート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査、単元テスト、実力テスト</li> <li>・授業ワークシート、ノート、小テスト</li> <li>・授業アンケート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査、単元テスト、実力テスト</li> <li>・授業ワークシート、ノート、小テスト</li> <li>・授業アンケート</li> </ul>

小中一貫教育の視点	具体的な取り組み (交流・連携等)	2学期までの 成果と課題	1年間の成果と 今後の課題
自分の力でたくましく 生きぬく子の育成 ～9年間の継続的な一貫性 のある指導を目指して～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連の深い単元では、導入で小学校での既習事項を確認し、展開に進んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の既習事項を土台に、論理的な思考力や多面的多角的な見方を活かした深い理解につながっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の既習事項を土台とした指導を継続していく。</li> </ul>

# 授業改善プラン

## 3年 教科 ( 社会 )

### 【目的】

- 生徒の課題を分析し、適切な指導方法の工夫、改善を行う。
- 生徒、保護者に課題、改善の取り組みを明示し、学校と一体になって学力向上へ向けた取り組みを行う。

学力調査・定期考査・生徒の授業アンケート・授業の様子から分析して作成する。

観 点	1・2学期		3学期
	課題分析	具体的な改善プラン	改善プランの評価 来年度に向けて
社会的事象への 関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史分野終盤（戦前戦後）の内容は八丈島との関連を取り上げながら高い関心を引き出せたが、公民分野では単元によって意欲の差が大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容と身近な生活との関連を導入で提示。</li> <li>・毎時間1人ずつスピーチを実施。（社会の出来事に対する関心を高める。）</li> <li>・クロームブックを活用した課題の設定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入の工夫で主体的な学習を促すことができた一方、スピーチを小テストに切り替えたため、継続して指導できなかった。今後は活動のバランスを考える。</li> </ul>
社会的な 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の社会的な事象の関連付けや考察に課題をもつ生徒が多く、適切な支援が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際の社会と学習内容の関連を意識させる課題の設定。</li> <li>・毎時間、学習内容やテーマについて文章でまとめる課題を提示。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎時間、学習内容を振り返る課題を継続した結果、文章問題に対しての苦手意識を軽減できた。思考課題は今後も継続して指導していく。</li> </ul>
資料活用の技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料読解には自信をもって取り組んでいる。複数資料など、難解な読解に個人差が大きい。レベル別に支援することで取りこぼしのないように配慮している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料読解問題の継続。</li> <li>・発展的な資料活用問題の提示。</li> <li>・理解度に応じた支援の充実。（ヒント、個別支援等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クロームブックを活用した課題では個別のフィードバックによって一人ひとりの課題に応じた支援を充実させることができた。</li> </ul>
社会的事象について の知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識の定着は個人差が大きい。実力テストでも1、2年生の学習内容の定着が全体の課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確認テスト、実力テストの分析。</li> <li>・クロームブックを使った確認テスト。</li> <li>・テスト結果の分析。</li> <li>・分析を活かした苦手の補充。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クロームブックを活用した小テストによって反復学習を促すことができた。今後もICTを活用した知識の定着のための工夫を継続していく。</li> </ul>
授業改善の検証方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査、単元テスト、実力テスト</li> <li>・授業ワークシート、ノート、小テスト</li> <li>・授業アンケート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査、単元テスト、実力テスト</li> <li>・授業ワークシート、ニュース発表</li> <li>・授業アンケート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査、単元テスト、実力テスト</li> <li>・授業ワークシート、ノート、小テスト</li> <li>・授業アンケート</li> </ul>

小中一貫教育の視点	具体的な取り組み (交流・連携等)	2学期までの 成果と課題	1年間の成果と 今後の課題
自分の力でたくましく 生きぬく子の育成 ～9年間の継続的な一貫性 のある指導を目指して～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連の深い単元では、導入で小学校での既習事項を確認し、展開に進んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9年間の集大成として、自分の意見を論理的に主張する場面が多くなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の成果を踏まえ、目指す姿を常に意識した指導を行っていく。</li> </ul>